

子ども達より良い学びのために

12月20日 県教育委員会から滋賀県立高等学校再編計画が発表されました

この度発表された計画は、計画(原案)および計画(案)と比べると、実施年度の繰延べや、長浜北星高校の定時制課程の存続、中高一貫教育校設置への変更など、市民の皆さんの意見や、『長浜の未来を拓く教育検討委員会』の提言、本市の要望を踏まえ大きく見直されました。

しかしながら、新しい高校の設置場所については、本市の提案は聞き入れられず、従前の計画(案)どおりとなりました。

今後は、計画の実行段階へと移行することになりますが、市としては地域との対話を基本に計画が確実に実行されるよう注視するとともに、必要に応じて県教育委員会に対して適切な対応を求めていると考えています。

「滋賀県立高等学校再編計画(案)：10月1日発表」から見直しのあった箇所（長浜市に關係する部分）

○職業系専門学科の改編等【農業学科の小学科改編】
計画（案） 長浜農業高校 1 学年 3 学級

計 画 長浜農業高校 1 学年 4 学級

○総合学科の充実【長浜北星高校総合学科に福祉系列を設置】【長浜高校福祉学科の廃止】

計画（案） 福祉に関する基礎的・基本的な学習に重点を置き、生徒の進路希望に応じて上級学校への進学にも対応できるよう教育課程を工夫する。

計 画	生徒の進路希望に応じて上級学校への進学や介護福祉士の受験資格取得を目指す生徒にも対応できる教育課程を設定する。
-----	---

問企画政策課 (☎65-6505 Eメールkikaku@city.nagahama.lg.jp)

年金受給者の皆さんへ 公的年金等の源泉徴収票が送付されます

国民年金や厚生年金などの老齢年金の受給者を対象として、1月中旬に日本年金機構から「源泉徴収票」が送付されます。

この「源泉徴収票」は確定申告の際に必要となりますので、大切に保管してください。紛失された場合は再発行
できます。

なお、障害年金や遺族年金は課税対象ではありませんので、「源泉徴収票」は送付されません。

問 源泉徴収票に関すること・・・彦根年金事務所 お客様相談室 (☎0749-23-1116)
ねんきんダイヤル (☎0570-05-1165)
確定申告に関すること・・・長浜税務署 (☎62-6144)

一日年金相談所の開催

年金事務所では、次の日程で一日年金相談所(予約制)を開催します。

【と き】 1月17日（木）10時～16時

【ところ】長浜市社会福祉協議会（高田町）

【申込み】 下記の予約専用電話で申込みください。

予約は相談日の1か月前から受付します。

予約専用電話 彦根年金事務所

0749-23-5489 (平日8時30分~17時15分)

※この電話では予約以外の用件は受けられません。

問彦根年金事務所 お客様相談室 (☎0749-23-1116)

国民年金基金への 加入のお知らせ

“自営業者等に、
より有利な年金を”

ただいま、国民年金基金の加入
受付中（掛金は、全額社会保険
料控除の対象）
問合せは、滋賀県国民年金基金
（☎077-525-9821）まで。

～平成25年度地域密着型サービス事業所を募集します～

「地域密着型サービス」は、高齢者が中重度の要介護状態になっても、可能な限り住み慣れた自宅または地域で暮らし続けられるように創設された介護保険のサービスです。利用者と職員が身近でなじみの関係が築けるように小規模な施設となっていることが特徴で、市が指定・指導監督を行います。

市では、「第5期介護保険事業計画」に基づいてサービスの整備を進めており、平成25年度に開設する事業者を募集します。

応募手続きについては、電話予約のうえ来庁ください。詳しくは、下記まで。

【募集期間】 1月7日（月）～2月7日（木） 受付時間 9時～16時30分 ※平日

募集事業（サービス）	募集数	定員	指定圏域	
認知症対応型通所介護	1	12人以下	長浜市全域	○東部圏域・・南郷里・北郷里地区
認知症対応型通所介護（共用型）※	2	3人以下	長浜市全域	○北部圏域・・神照地区 ○西部圏域・・長浜地区
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	2	9人以下	「西部圏域」1か所 「東部または北部圏域」1か所	※共用型は、市内でグループホーム等を開設（予定）している事業所で、介護サービス事業の運営を3年以上行っている事業所に限ります。
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	長浜市全域	
小規模多機能型居宅介護	2	25人以下	「西部圏域」1か所 「東部または北部圏域」1か所	
複合型サービス	1	25人以下	長浜市全域	

問 高齢福祉介護課 (☎65-7789)

本年もよろしくお願ひします

新年 明けましておめでとう
ございます。

昨年を振り返りますと、円高とデフレが長引き厳しい経済情勢が続く中、衆議院の解散総選挙が行われるなど、政治、経済、国際情勢が混迷した年でした。

こうした中、本市としては東日本大震災以降の原子力安全対策をはじめ、県教育委員会が見直しを進める県立高校の再編問題など重要な課題が山積する一年でした。

また、市民の暮らしを支える最も身近な基礎自治体の長として、財政の健全性をしっかりと維持しつつ、長年の懸案事項であった新庁舎の建設、神照運動公園ブルの整備等、大型プロジェクトに着手するとともに、関係者のご協力のもと長浜サイエンスパーク、東野・小野寺工業団地への企業誘致を果たし、地域経済の活性化と雇用の確保を図ることができました。

さらに、湖北地域の長年の念願であった「小谷城スマートインターチェンジ」の設置が決定し、「長浜・戦国大河ふるさと博

市長
コラム③①

至誠通天

藤井 勇治

※至誠通天
誠を尽くせば天が
味方してくれること



では、メイン会場に「賤ヶ岳・木之本エリア」を加えて、全国からおよそ30万人のお客様を迎えることができました。同時に、同博覧会を支えた語り部ガイドや地域の組織体制は、今後地域におけるまちづくりの推進基盤として大いに活躍いただけるものと確信しております。

今年は、長浜城再興30周年、黒壁設立25周年、長浜バイオ大学習開学10周年を迎えるとともに、湖北・長浜の玄関口であるJRR長浜駅周辺地区の再開発整備事業が本格的に始動します。

私の任期の一区切りとなる総仕上げの年として、未来の10年、30年、50年先を見据えた都市基盤を整えるとともに、湖北の農産物やビワマスをはじめとする特産品の振興を図り、石田三成や来年のNHK大河ドラマの主人公「黒田官兵衛」ゆかりの地木之本・奥びわ湖、全国に誇れる観音文化など、湖北の豊かな自然と歴史、文化をしっかりと活かし、合併以来培ってきた長浜市民力の結集により、長浜市ならではの地域ブランドを確立し、力強い郷土づくりを推し進める決意です。